



写真：桐生建設(株)+桐生森芳工場

国登録有形文化財

旧 須 藤 邸 (旧金善織物事務所兼居宅)

須藤家住宅は、桐生市の旧市街地西方の三方を山に囲まれた住宅街に所在し、かつて隆盛を誇った金善織物株式会社の事務所兼居宅。

明治前期から明治後期に建てられ大正10年頃改築された建物となっている。

昭和30年、整骨院「名倉堂」の須藤寿作が購入し須藤禮子が手入れをして別荘として使用された。令和3年、ミタカホールディングス(株)が購入して現在に至っている。

桐生織物史によると金善織物(株)の創業は明治9年とされ、大正10年には本町五丁目に鉄筋コンクリート造地下1階、地上4階建の貸しビル(金善ビル)を建設するほどの桐生でも有数な織物会社であった。

建物は、主屋【表玄関、応接間(旧事務所)、サロン、居室】と敷地の背後に建つ木造2階建切妻造瓦葺の奥座敷(旧寄宿舍)、主屋居室部の北側に隣接する木造2階建漆喰塗瓦葺の土蔵で構成されている。(敬称略 桐生市ホームページより抜粋、一部変更)

開館=毎月第一土曜日 10:00~16:00 (入館は15:00まで)
 観覧料=300円(ご利用等のお問い合わせは裏面記載のテキスト桐生までお願いいたします)
 主催=テキスト桐生(株) 協賛=ミタカホールディングス(株) 協カ=桐生市、ファッションタウン桐生推進協議会

旧金善織物沿革

- 1828(文政11年) 金居善太郎、生まれる
- 1874(明治 7年) 金居常八郎、生まれる
- 1876(明治 9年) 金善織物(株)創業
- 1900(明治33年) 金居善太郎、登記
- 1921(大正10年) 桐生市本町5丁目「金善ビル」建設
- 1923(大正12年) 金居善太郎没、常八郎相続
- 1944(昭和19年) 金善織物(株)解散



戦前の金善織物の様子。中央左に表玄関が見える

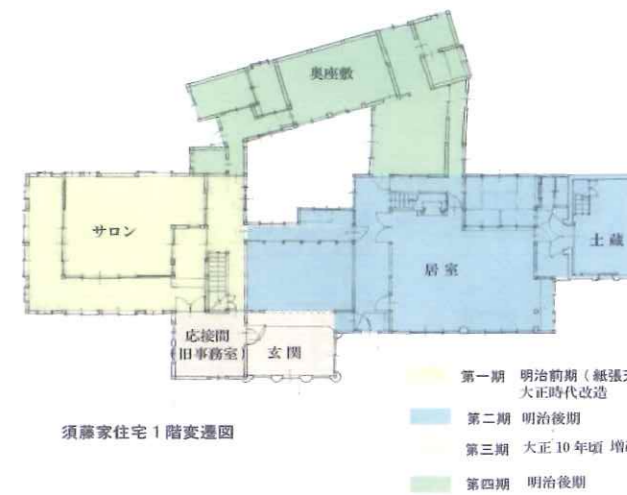
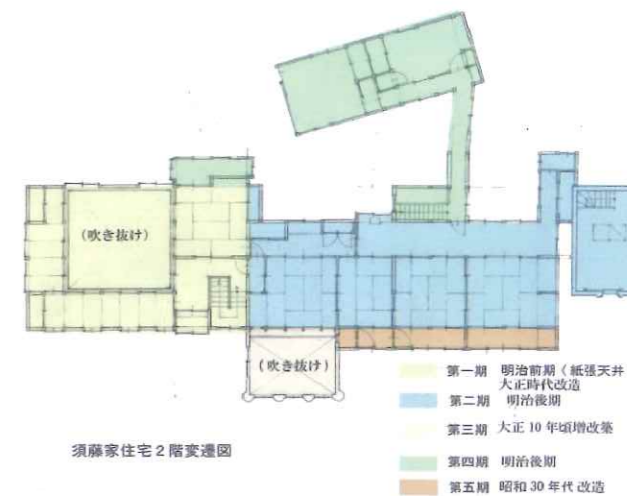
旧須藤邸

- 戦後、沖電気、西尾剛の所有を経て
- 1955(昭和30年) 須藤寿作購入 金居常八郎没
- 1993(平成 5年) 須藤禮子相続(寿作没後)
- *須藤禮子は元宿浄水場を設計した清水三五郎の息女
- 2003(平成15年) 「須藤家住宅」わがまち風景賞受賞(ファッションタウン桐生推進協議会)
- 2006(平成18年) 国登録有形文化財登録
- 2021(令和 3年) ミタカホールディングス(株)取得

須藤寿作略歴

- 1922(大正11年) 群馬県沼田市上川田村生まれ
- 中学卒業後、北千住「名倉堂」接骨院勤務
- 1947(昭和22年) 清水禮子と結婚
- 桐生市宮本町1丁目(現桐生一高前)
- 「名倉堂」接骨院開業
- 1955(昭和30年) 旧金善織物事務所兼居宅購入
- 1960(昭和35年) 慈恵医大に進学、群馬大で学位(38才)
- 1967(昭和42年) 伊香保で診療所始める
- 1978(昭和53年) 医療法人敬寿会伊香保温泉病院創立
- 1989(平成 元年) 前橋城南病院設立
- 1993(平成 5年) 須藤寿作没(享年72歳)(敬称略)
- 「元旦以外休むことなくよく働く」と言われた。

ミタカホールディングス株式会社 テキスト桐生株式会社
 桐生市境野町7-1860 桐生市広沢町5-1602-1
 sudoutei@mitaka-kk.com hisaka@texte-kiryu.com



アクセス



旧須藤邸所在地
 桐生市境町1-14-32